

保留児童対策タスクフォース を設置します

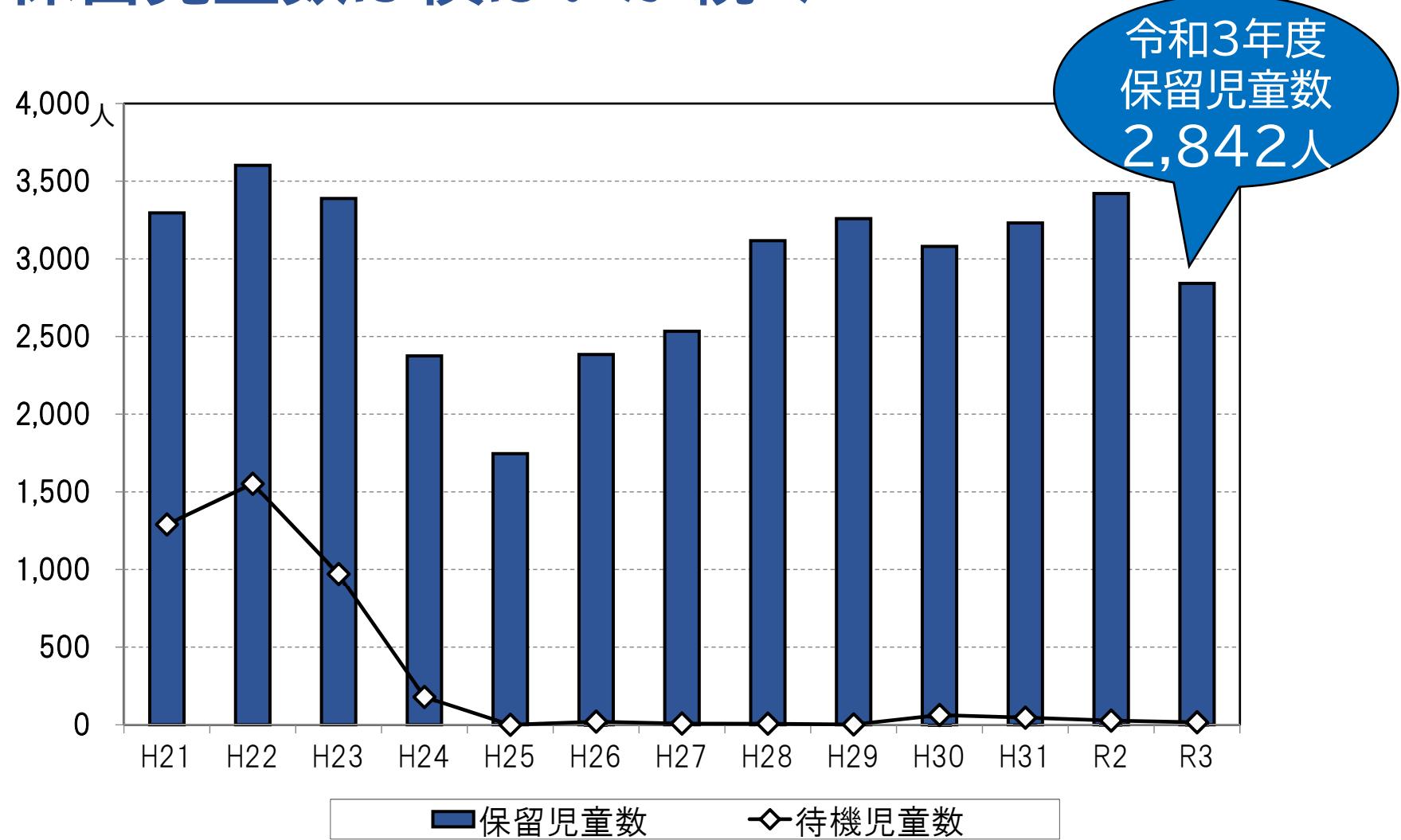
あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



■ 保留児童数は横ばいが続く



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



令和3年度 保育所等申請者72,527人



■ 保留児童2,842人(令和3年4月時)の内訳

内訳	
育休関係(育児休業延長目的)	1,124人
市や国の認証を受けた認可外施設等を利用する方(横浜保育室等)	455人
特定の保育所等のみの申込者等	835人
待機児童	16人
育休関係(復職の意思を確認できない方)	311人
求職活動を休止している方	101人

1,718人について、
詳細な状況は不明

参考となるデータ
は全国的ではない

保留児童対策タスクフォース を設置します

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



保留児童の詳細なニーズを把握し、
データに基づき明らかにしていくための

保留児童対策タスクフォース を設置します

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



■ タスクフォース概要

● 発足日

令和3年12月8日(水)

● メンバー

こども青少年局および区職員10名（課長・係長級）

● 実施内容(予定)

■ ~令和4年3月

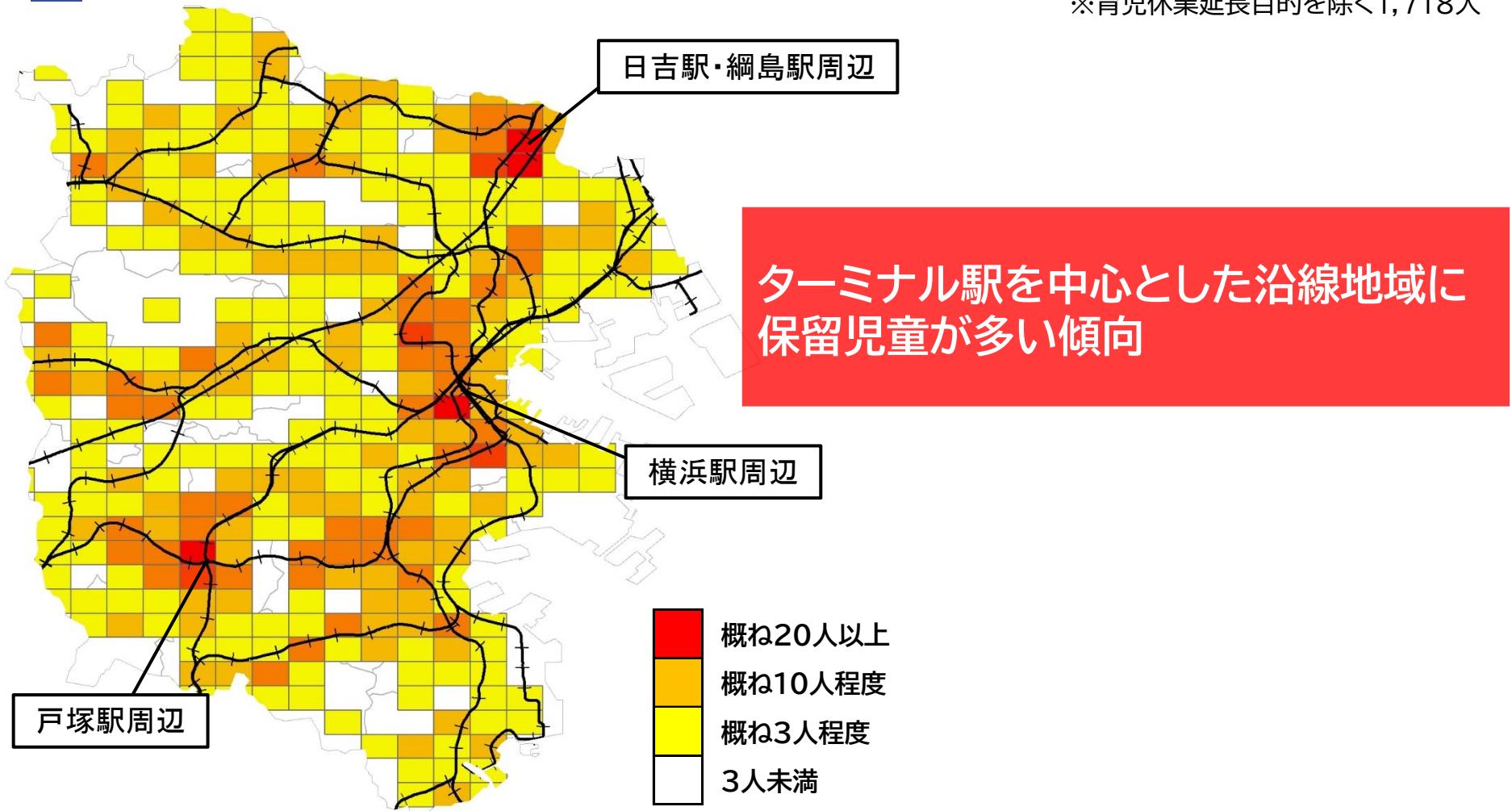
- ・分析に必要なデータ項目の抽出
- ・令和3年4月入所情報による予備的な分析

■ 令和4年4月～

- ・令和4年4月入所情報の分析、結果の解釈

保留児童※の分布(1km四方あたり)

※育児休業延長目的を除く1,718人



あうたびに、あたらしい

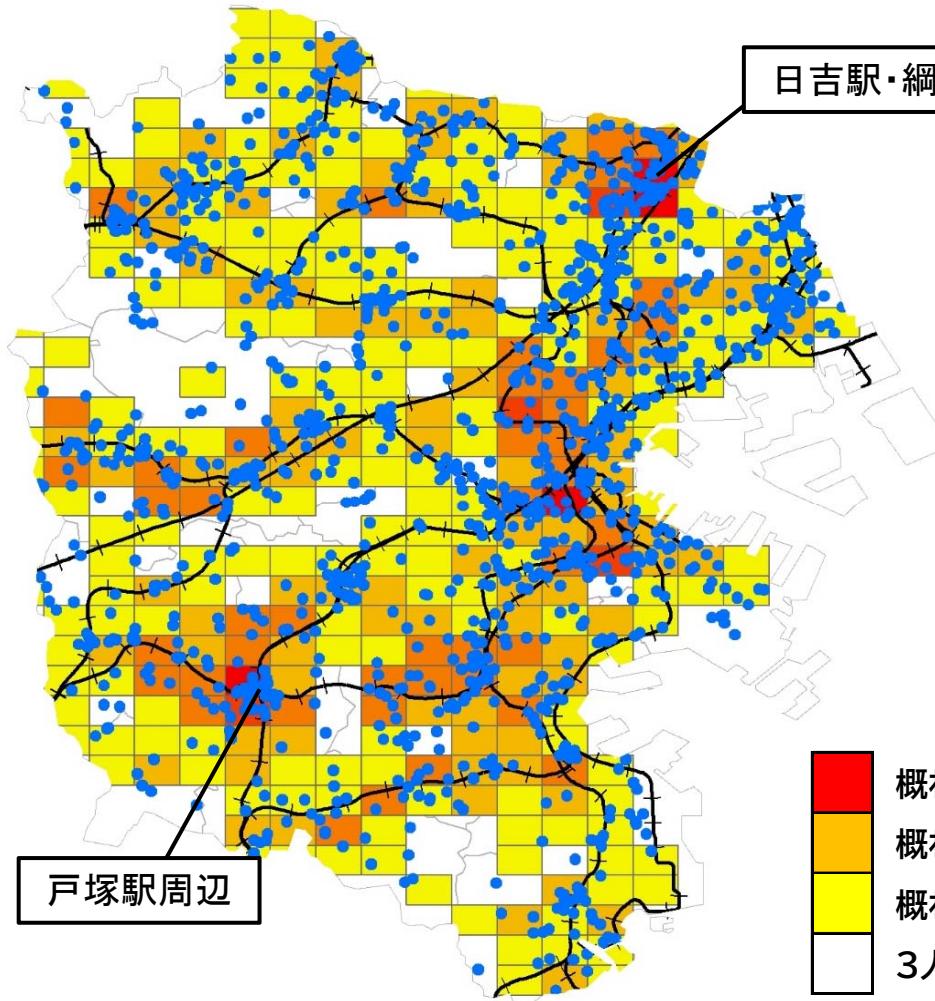
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



施設整備の状況

・印…認可保育所等
(1,146施設/R3.4)



- 既存施設の活用(マッチング、定員増 etc.)
- 本当に必要な場所への新規整備

等を弾力的に実施して、受入枠の確保に努めることが必要



あうたびに、あたらしい

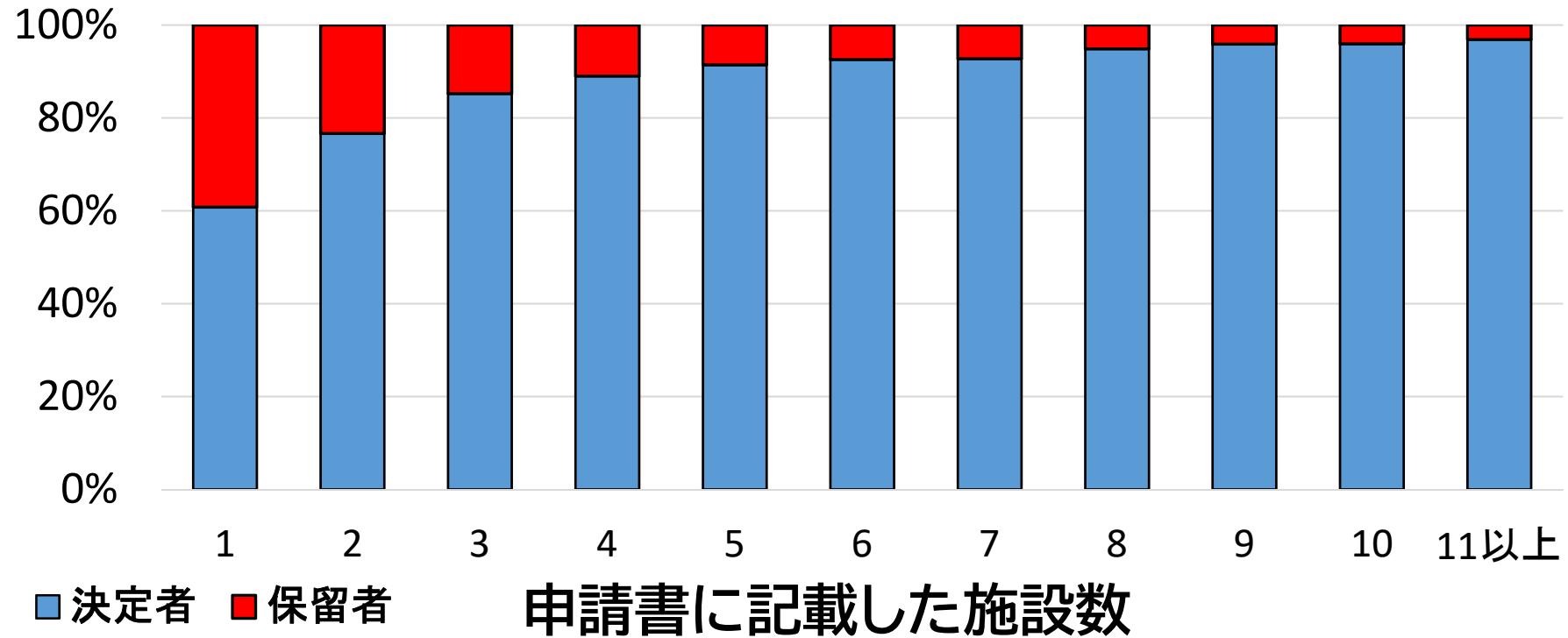
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



希望施設数ごとの利用決定者・保留者の割合

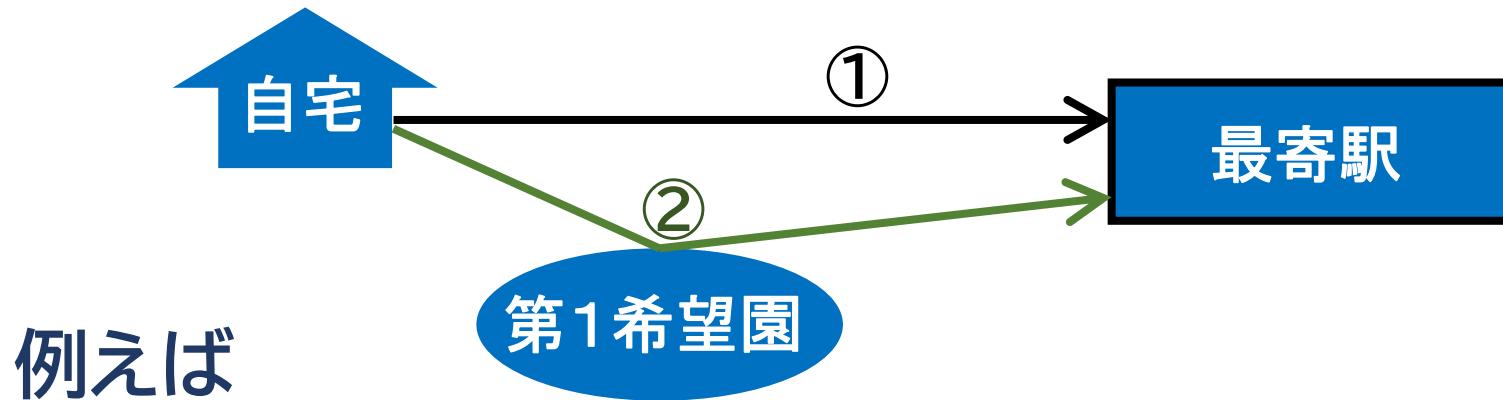
※R3.4 新規利用申請者のうち16,980人



多くの施設を希望すれば利用決定しやすい傾向にあるが、
多くの施設を希望しても保留者になる方もいる

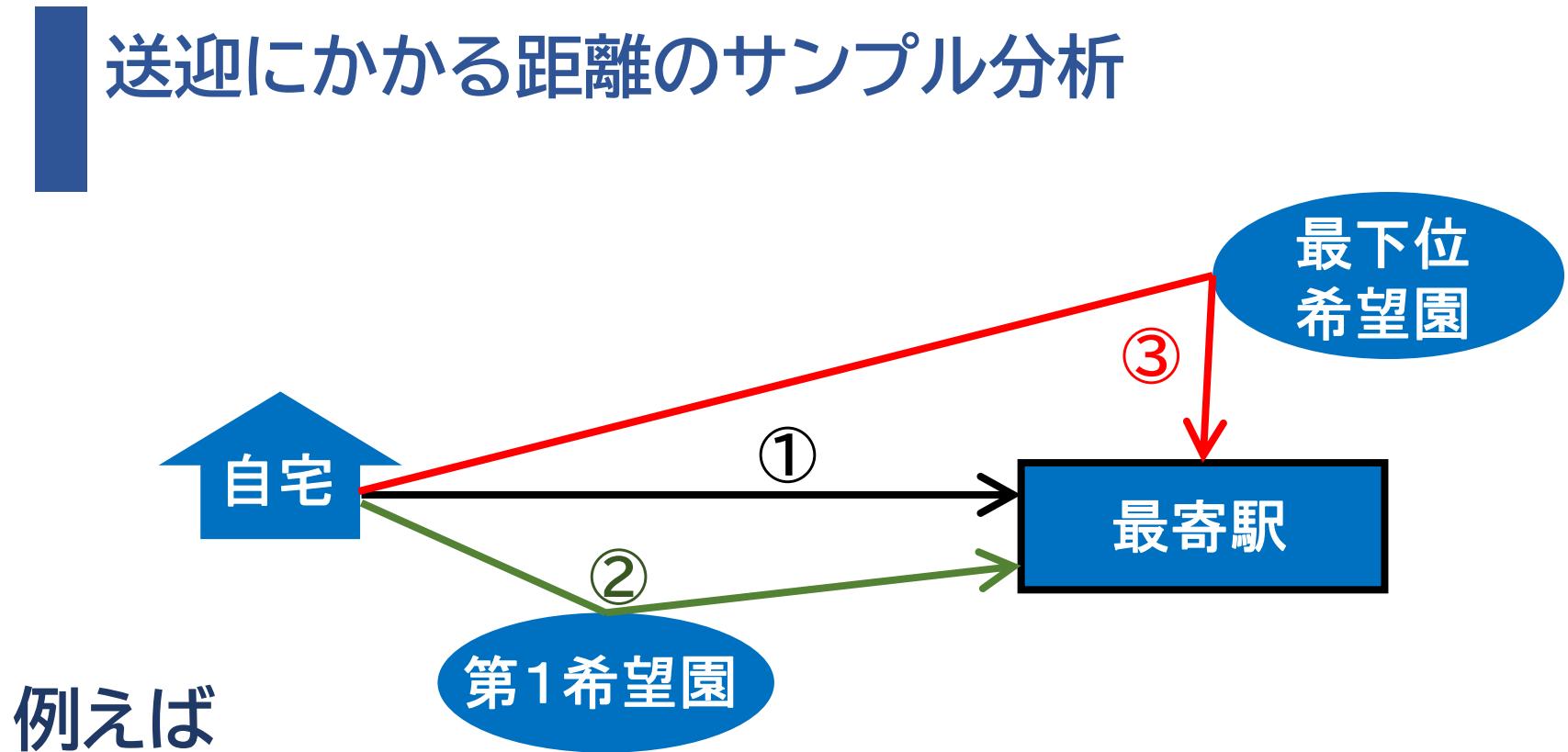
送迎にかかる距離のサンプル分析

※自宅と最寄駅の距離を1とした場合の比



経路	距離(例)	最寄駅距離比
→ ①自宅から最寄駅	1,000m	1
→ ②第1希望園経由	1,500m	1.5

送迎にかかる距離のサンプル分析



経路	距離(例)	最寄駅距離比
→ ①自宅から最寄駅	1,000m	1
→ ②第1希望園経由	1,500m	1.5
→ ③最下位希望園経由	2,500m	2.5

あうたびに、あたらしい

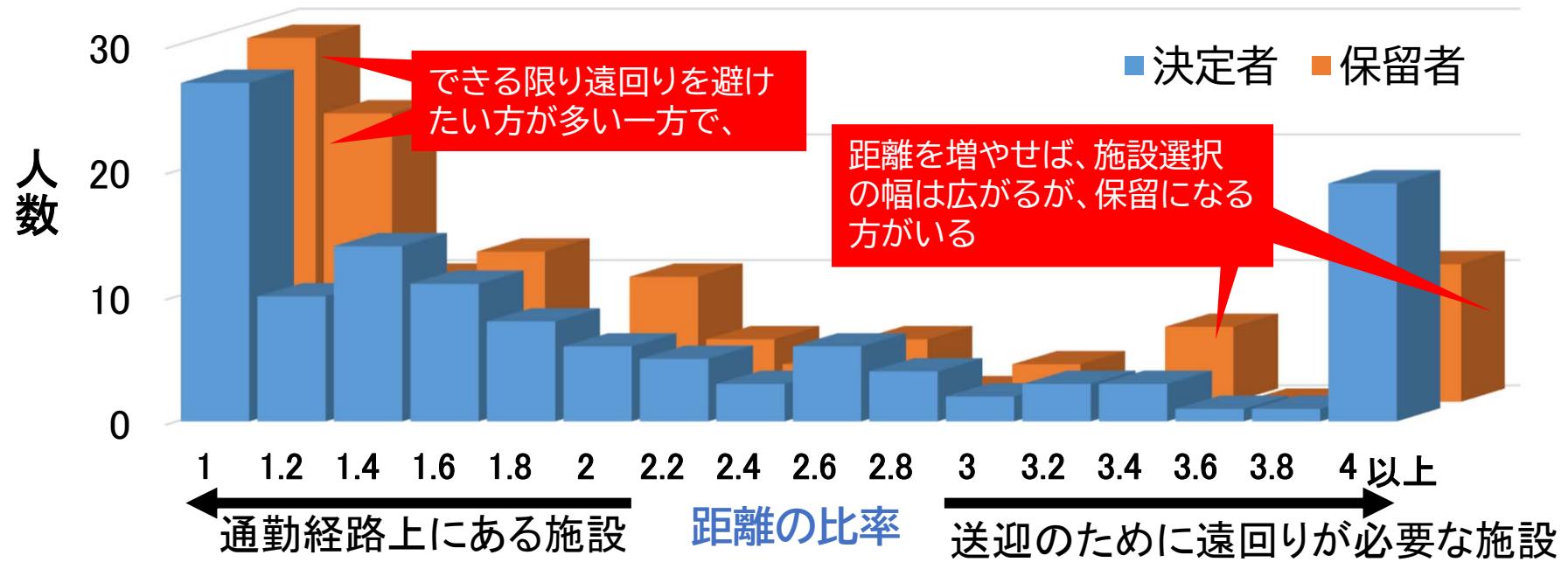
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



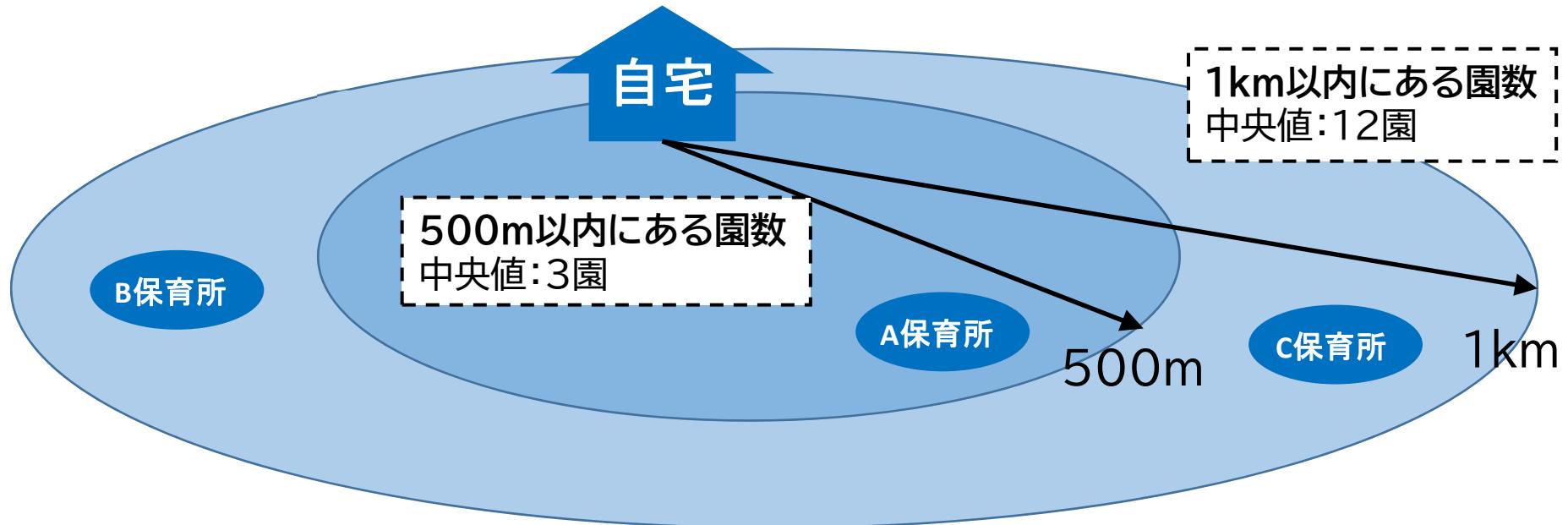
■ “最下位希望施設”に関する送迎距離のサンプル分析例(248件)

※R3.4入所申請者サンプル(248件)



自宅から半径1km圏内にある施設数

※R3.4利用申請者のうち16,980人



- ・自宅から園半径500m(徒歩7-8分)にある園は、3園(中央値)。
- ・半径1km まで広げると、12園(中央値)

■ 今後必要な分析

保育を必要としている方のニーズを把握するために、必要なデータ収集・分析を進めます。

- 今回の送迎距離分析の手法を精緻にし、令和4年4月保留児童全体で実施
- 「特定保育所等のみの申込者」の分析
特定保育所等のみを希望する理由のデータ化
例)利用調整ランクや、きょうだい児の有無 等